

令和4年度 区民利用施設の管理運営に係る事業計画書
老人福祉センター横浜市麦田清風荘 事業計画書

1 管理運營業務の基本方針について

- (1) 重点項目
- (2) 数値目標

(1) 重点項目

老人福祉センターは、老人福祉法に基づき設置された施設で、高齢者の社会参加、交流促進を目的としています。当センターでも、高齢者が健康でいきいきと活躍する地域社会を目指し、以下を重点項目に管理運営を進めていきます。

ア 高齢者に配慮した事業運営

高齢者が、楽しく安全に利用できるセンターを目指します。

イ 多様なニーズに応じた自主事業の実施

趣味を通じた生きがいづくりや健康維持のための趣味の教室など多彩な講座を開催します。また、地域特性やニーズに応える事業（PCサロンなど）など地域に開かれた事業を支援します。

ウ 地域連携の強化

中区は後期高齢者が増加しており、今後とも中区老人クラブ連合会や地区社会福祉協議会などと連携し、引き続きシニア大学や一人暮らし高齢者食事会などの事業を支援していきます。

エ 安全・安心の追求

利用者が安全、安心に過ごせるよう、防犯、防災（防火）、感染症対策を進めます。

オ 多くに知ってもらう、利用してもらう工夫

当センターで実施する様々な講座等の情報は、広報よこはまやホームページ等の広報ツールを積極的に活用して情報発信していきます。

(2) 数値目標

ア 稼働率の向上

令和3年度は新型コロナウイルス感染症対策で部屋の利用制限を行ったため稼働率の低い状態が続きました。4年度も利用制限等が行われる可能性はあると思われませんが、自主事業などの積極的な事業展開により、前年以上の稼働率の向上を目指します。

2 組織体制

- (1) 管理運営に必要な組織、人員体制
- (2) 個人情報保護等の体制と研修計画
- (3) 緊急時の体制と対応計画

(1) 管理運営に必要な組織、人員体制

所長	常勤（兼務）	1名	管理運営の総括、職員・スタッフの指導監督
主任	常勤（兼務）	1名	自主事業、庶務、経理、スタッフの指導・補助
スタッフ	非常勤	20名 勤務配置10名	利用の受付・案内・対応、用具、備品の貸出と点検、館内外の整理・清掃、簡易な修理、施設管理等

スタッフは4班（各5名）に分かれ、各班は午前、午後の区分毎に隔月に勤務します。

採用は、公募により採用委員会を設置し、公正に選考します。

(2) 個人情報保護等の体制と研修計画

ア 個人情報保護等の体制と研修

当協会では、個人情報保護法、横浜市個人情報の保護に関する条例等に基づき、「個人情報保護方針」を制定し、個人情報の厳正な取扱いの徹底を公表するとともに全従業員がこれを厳格に守ることとしています。また毎年、全従業員を対象に個人情報保護に関する研修を実施し、個人情報保護に関するルールや管理方法、罰則等について確認しています

当施設においても、利用にかかる個人情報の収集は必要最小限にとどめ、収集した情報は、適切に管理（パスワードや施錠）し、不要なものは速やかに廃棄することとしています。

イ 研修計画

「すべての施設は地域と利用者のためにある」という館長憲章に基づき、常に利用者の立場に立って業務に当たれるよう、「年間研修計画」を作成し実行します。

(7) 接遇研修

利用者の接遇向上のため、事例検討など具体的で実践的な研修を行います。

(4) 業務研修

当施設においても、日常業務を通じてスタッフ教育をするとともに、利用者からの指摘等については、対応方法を接遇改善の事例として情報共有をします。

(ウ) 救急救命研修

全従業員がAEDの操作を含む日本赤十字社の救急法講座を受講します。

(エ) 人権研修

当施設で身近な事例を参考にした研修を実施しています。

(3) 緊急時の体制と対応計画

当協会が定めた「事故等非常時における危機管理のあり方について」に即し、非常時におけるスタッフの初動体制や緊急連絡網による通報、動員体制を採っています。

ア 防犯対応

当施設では、防犯のため、職員が施設内外を随時巡回し、スタッフ5名も1階と2階を監視し、さらに夜間、休館日には警備会社による機械警備を行います。

イ 防災（消火）対応

防災について、非常時には所定の消防計画に基づき直ちに自衛消防隊を立ち上げ、予め決めた役割を分担します。避難経路、消火設備の設置場所は1階掲示板に明示しています。

防災（消火）訓練は、年2回職員とスタッフが設備を適切に使えるよう実施しています。

また、当施設を災害時に活用できるよう、中区役所と「災害時等における施設利用に関する協定」を締結し、その中で「補完施設」として位置づけられています。

ウ 感染症対策

体温チェック、各部屋等の消毒等新型コロナウイルス感染防止のための取組を実施します。

エ その他事故防止対応について

毎朝、自動ドアやエレベーター等の設備について、始業前点検をします。また、事務室内に設置したAEDは、毎日インジケーターの点検を行います。その他、館内に利用者を見守るためのカメラを設置しています。（3箇所）

3 施設の運営計画

- (1) 地域との連携に関する計画について
- (2) 広報及び利用促進策について
- (3) 利用者ニーズの把握と運営への反映方法
- (4) 個人や団体に対する相談、調整、助言等について
- (5) その他利用者サービス向上の取組について

(1) 地域との連携に関する計画について

当センターの目的達成のため、引き続き地元町内会、地区社会福祉協議会、中区老人クラブ連合会、中区役所との連携を深め、地域の高齢者への支援を行います。

今年度も引き続き、次のような取り組みをすすめます。

- ・老人クラブが主催するシニア大学を支援します。
- ・老人クラブが実施する、各事業や説明会等に協力します。
- ・地区社協と連携して、一人暮らし高齢者のための「お楽しみ食事会」を支援します。
- ・各サークル活動の発表の場であるクリスマス会はヘルスマイトと連携して実施します。

(2) 広報及び利用促進策について

ア 広報

最新情報が手軽に入手できるよう広報用ツールとして、「広報よこはま」「なかカレンダー」、タウン誌の活用やホームページの充実を図ります。また、地域に開かれた事業や講座もPRします。

イ 利用促進策としては、利用者や地域のニーズを踏まえた自主事業を展開します。

(7) ニーズに即した趣味の教室の開催

趣味を通した生きがいづくりや健康増進のため、生活様式及び価値観のニーズの多様化に対応した満足度の高い教室を開きます。

(イ) 地域に開かれた事業の推進

PCサロンを行います。

(ウ) 定期点検や利用者会議等での要望などを踏まえて、安全性・快適性向上のために設備、備品等の改修、更新をします。

(3) 利用者ニーズの把握と運営への反映方法

ア 毎年利用者会議を開催し、利用者から直接意見を求めています。

イ 毎年1回以上趣味の教室受講者やセンター利用者へアンケート調査を実施しています。

ウ その他ご意見箱の設置、地元町内会への参加等日常的にニーズ把握に努めています。

(4) 個人や団体に対する相談、調整、助言等について

ア 趣味を広げたい等の相談に対しては、当施設での自主サークルの紹介等をします。

イ ホームページの「お仲間募集」なども活用してサークル活動を支援します。

(5) その他利用者サービス向上の取組について

ア 施設利用の際の規則やマナーを周知し、気持ち良く利用できるよう努めます。

イ 常に利用者ニーズの把握に努め事業に反映します。

ウ 毎日の点検、清掃などを通し、安全、清潔なセンターを目指します。

エ お部屋、備品などの利用環境の整備に努め満足度の向上に取り組みます。

4 施設の維持管理計画

- (1) 建物・設備等の保守管理
- (2) 清掃計画
- (3) 植栽管理
- (4) 保安警備計画

(1) 建物・設備等の保守管理

- ・電気、消防、空調設備等の保守点検は、専門業者に委託します。さらに職員、スタッフが館内外の見回り時に点検し、不具合があれば可能な限りスタッフが直ちに修理します。大規模な修繕は中区役所に申請します。

(2) 清掃計画

- ・日常清掃・定期清掃を業者に委託するほか、スタッフが部屋の点検時の清掃や庭の植え込みなどのゴミ拾いも行い、シャワー室のロッカーは毎日除菌清掃を行います。また、掃除業務引継ぎ表に沿って清掃を行います。

(3) 植栽管理

- ・年1回業者が実施するほか、日常、スタッフが水遣り、草取り、芝刈り他を行います。

(4) 保安警備計画

- ・機械警備を業者に委託（休館日は見回り、閉館時は機械警備）
- ・火災やガスもれは自火報盤により監視を行い、異常があれば直ちに職員、スタッフが現場に駆けつけ適切な措置を講じるほか専門業者に連絡します。また、自火報盤、非常放送盤の操作は職員全員が対応できるよう防災（消火）訓練に併せて研修を行います。

建物設備維持管理計画表

業務内容	体制	頻度
設備総合巡視点検	委託	1回/月
自家用電気工作物保守点検・年次点検・受電設備清掃	委託	1回/月・1回/年・1回/年
昇降機保守点検・法定点検	委託	1回/月・1回/年
自動ドア保守点検	委託	3回/年
機械警備・巡回	委託	閉館時・休館日
空調自動制御装置保守	委託	2回/年
冷温水発生機保守点検・エアハン清掃	委託	3回/年・2回/年
冷却水処理業務・レジオネラ菌分析	委託	3回/年・2回/年
消防用設備点検（非常電源含む）	委託	2回/年
害虫駆除	委託	2回/年
日常清掃・定期清掃（受水槽・冷水器水質検査含む）	委託	毎日・1回/月～6回/年・1回/年
植栽（剪定・草刈）	委託	1回/年

麦田清風荘 自主事業計画書 (総括)

団体名 一般社団法人中区民活動支援協会

事業名 (教室名)	開催日	回数	①募集対象	自主事業予算額					備考	
			②募集人数	総経費	収入		支出			
			③一人当たり参加費		指定管理料 から充当額	参加費	講師謝金	材料費		その他
趣味の教室	4月～翌3月	132	60歳以上	926,000	738,000	188,000	738,000	188,000	新規・継続	
			250							
			0～1500程度							
介護予防事業 音楽健康体操	4月～翌年3月	24	60歳以上	600,000	600,000	0	180,000	0	新規・継続	
			20							
			0							
ストレッチ教室	4月～9月	12	60歳以上	60,000	60,000	0	60,000	0	新規・継続	
			20							
			0							
音楽サロン	4月～翌年3月 (1月・8月休み)	10	60歳以上	75,000	75,000	0	75,000	0	新規・継続	
			20							
			0							
ズンバゴールド	9月	2	おおむね60歳以上	12,000	12,000	0	12,000	0	新規・継続	
			20							
			0							
保険料	10月	1	おおむね60歳以上	8,000	8,000	0	8,000	0	新規・継続	
			20							
			0							
合 計				1,681,000	1,493,000	188,000	1,073,000	188,000	420,000	0

事業ごとの事業内容等を様式4に記載してください。

麦田清風荘 自主事業別計画書（単表：内容）

団体名 一般社団法人中区民活動支援協会

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
趣味の教室	<p>高齢者の健康の増進、教養の向上及びレクレーション等を通じ生きがいづくりの機会、仲間づくりを目的として、初心者向けの講座を開催します。</p> <p>特に、運動系の講座については、年齢、身体機能的変化に応じ安全を考慮した内容とします。</p> <p>利用者のニーズを踏まえて、バラエティに富み多種多様な講座を企画し、実施します。教室終了後は研究会、自主サークルとして、センター利用者拡大にもつながります。</p> <p>横浜カレンダー掲載・広報なか区版・横浜市老人福祉センター案内・館内掲載・清風荘ホームページ</p>	<p>前期 4月～9月 後期 10月～翌年3月</p> <p>回数は講座により異なります 6回～12回</p>
事業名	目的・内容	実施時期・回数
介護予防事業 音楽健康体操	<p>高齢者の介護予防として、第一興商のエルダーシステムという機器を使用し、大広間を活用し、月2回ほど講師を招いて音楽に合わせて、脳トレ体操、ストレッチなどを取り入れていきます。</p> <p>横浜カレンダー掲載・広報なか区版・館内掲載・清風荘ホームページ</p>	<p>前期 4月～9月 後期 10月～翌年3月</p> <p>前期・後期各12回</p>
事業名	目的・内容	実施時期・回数
ストレッチ教室	<p>専門の講師により、正しいストレッチをすることで、身体の可動域を広げ、高齢者の健康増進に繋げていきます。</p> <p>横浜カレンダー掲載・広報なか区版・館内掲載・清風荘ホームページ</p>	<p>4月～9月 (月2回・全12回)</p>
事業名	目的・内容	実施時期・回数
音楽サロン	<p>みんなの唄バンドをお迎えし、懐かしい歌謡曲などの演奏を、参加者の皆さんで、鑑賞します。60歳以上の皆様を対象に、自由に参加でき、楽しい音楽を鑑賞することで心の健康増進につながります。</p> <p>横浜カレンダー掲載・広報なか区版・館内掲載・清風荘ホームページ</p>	<p>毎月1回 (1月・8月休み) (合計10回)</p>

麦田清風荘 自主事業別計画書 (単表：内容)

団体名 一般社団法人中区民活動支援協会

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ズンバゴールド	令和3年度後期の趣味の教室で初めて清風荘で開催した事業 少し強度があるので、今年度は地域開放としておおむね60 歳を対象に開催し、当施設をより多くの人に知っていただ く機会とし、新規利用者増加につながるようにしていきます。 横浜カレンダー掲載・広報なか区版・館内掲載・清風荘 ホームページ	9月 2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数

事業名	目的・内容	実施時期・回数

事業名	目的・内容	実施時期・回数

令和4年度 老人福祉センター横浜市麦田清風荘 収支予算書兼決算書
(R4. 4. 1~R5. 3. 31)

収入の部 (税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	41,371,000	0	41,371,000	0	41,371,000	
指定管理料 (介護予防教室)	360,000		360,000		360,000	
利用料金収入	0	0	0	0	0	
自主事業 (指定管理料充当の自主事業) 収入	188,000	0	188,000	0	188,000	
自主事業収入	0	0	0	0	0	
雑入	200,000	0	200,000	0	200,000	
印刷代	0	0	0	0	0	
自動販売機手数料	200,000	0	200,000	0	200,000	
駐車場利用料金収入	0	0	0	0	0	
その他 (広告ラック収入・預金利息)	0	0	0	0	0	
収入合計	42,119,000	0	42,119,000	0	42,119,000	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	24,053,000	0	24,053,000	0	24,053,000	
給与・賃金	21,835,000	0	21,835,000	0	21,835,000	館長・副館長及び時給職員20名
社会保険料	1,243,000	0	1,243,000	0	1,243,000	
通勤手当	790,000	0	790,000	0	790,000	常勤職員・時給職員
健康診断費	173,000	0	173,000	0	173,000	
勤労者福祉共済掛金	12,000	0	12,000	0	12,000	
退職給付引当金繰入額	0	0	0	0	0	
事務費	2,102,000	0	2,102,000	0	2,102,000	
旅費	20,000	0	20,000	0	20,000	出張旅費
消耗品費	874,000	0	874,000	0	874,000	事務消耗品費
会議ठी費	10,000	0	10,000	0	10,000	
印刷製本費	60,000	0	60,000	0	60,000	
通信費	309,000	0	309,000	0	309,000	電話代・郵送料等
使用料及び賃借料	202,000	0	202,000	0	202,000	
横浜市への支払分	21,000	0	21,000	0	21,000	目的外使用料等
その他	181,000	0	181,000	0	181,000	リース経費等
備品購入費	350,000	0	350,000	0	350,000	
図書購入費	100,000	0	100,000	0	100,000	
施設賠償責任保険	56,000	0	56,000	0	56,000	
職員等研修費	0	0	0	0	0	
振込手数料	43,000	0	43,000	0	43,000	
リース料	31,000	0	31,000	0	31,000	
手数料	25,000	0	25,000	0	25,000	
地域協力費	22,000	0	22,000	0	22,000	地域イベントの協力費等
事業費	1,681,000	0	1,681,000	0	1,681,000	
自主事業 (指定管理料充当の自主事業) 費	1,681,000	0	1,681,000	0	1,681,000	
自主事業費	0	0	0	0	0	イベントの実施
管理費	13,225,000	0	13,225,000	0	13,225,000	
光熱水費	4,461,000	0	4,461,000	0	4,461,000	
電気料金	1,730,000	0	1,730,000	0	1,730,000	
ガス料金	1,731,000	0	1,731,000	0	1,731,000	
水道料金	1,000,000	0	1,000,000	0	1,000,000	
清掃費	3,826,000	0	3,826,000	0	3,826,000	
修繕費	856,000	0	856,000	0	856,000	
機械警備費	680,000	0	680,000	0	680,000	
設備保全費	3,402,000	0	3,402,000	0	3,402,000	
空調衛生設備保守	1,253,000	0	1,253,000	0	1,253,000	
消防設備保守	253,000	0	253,000	0	253,000	
電気設備保守	1,261,000	0	1,261,000	0	1,261,000	
害虫駆除清掃保守	60,000	0	60,000	0	60,000	
駐車場設備保全費	0	0	0	0	0	
その他保全費	575,000	0	575,000	0	575,000	
共益費	0	0	0	0	0	
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税	0	0	0	0	0	
消費税	0	0	0	0	0	
印紙税	0	0	0	0	0	
その他 ()	0	0	0	0	0	
事務経費 (計算根拠を説明欄に記載)	1,058,000	0	1,058,000	0	1,058,000	
本部分	0	0	0	0	0	労務・経理等の本部事務経費
当該施設分	1,058,000	0	1,058,000	0	1,058,000	
二一ズ対応費	0	0	0	0	0	
支出合計	42,119,000	0	42,119,000	0	42,119,000	
差引	0	0	0	0	0	

自主事業費収入	0	0	0	0	
自主事業費支出	0	0	0	0	
自主事業収支	0	0	0	0	

管理許可・目的外使用許可収入	200,000	0	200,000	0	200,000
管理許可・目的外使用許可支出	21,000	0	21,000	0	21,000
管理許可・目的外使用許可収支	179,000	0	179,000	0	179,000